

森町公共交通意見交換会・ ワークショップ開催結果

令和3年10月29日

(1) 意見交換会・WSの目的

森町における公共交通の利用状況は低迷しており、町民が使いたい思える公共交通網の構築に向けたワークショップを開催する。

ワークショップの実施により、各地区の町民から、より具体的な公共交通に対する意見を伺い、今後の計画の作成に向けた基礎資料とする。

(2) 意見交換会・WSの対象

森町内に居住する町民

(3) 意見交換会・WSでのテーブル割り振り

- ①駒ヶ岳・赤井川地区居住者：7名
- ②市街地周辺地区居住者：4名

(4) 意見交換会・WSで把握した内容

テーマ①：森町で生活し続けられるために、どのような交通があると良いでしょうか

テーマ②：ご自身も含めて、公共交通を利用したい、利用してみようと思えるような取り組み

■テーマ①：森町で生活し続けるためには？

- ・ 国道5号ではなく、住宅が集中している道路に運行すると良い
- ・ 拠点から乗り換えが発生しても良いので、新幹線延伸を見据えたバス路線の整備が必要
- ・ 家の前まで迎えにくる交通が望ましい
- ・ 家から少し離れても、乗車場所がゴミステーションまでの距離内であれば良い
- ・ 旧国道から国道5号までの移動を補完する交通
- ・ 運行頻度は週2～3回もしくは毎日
- ・ 1日1往復が午前中で完結すると良い
- ・ シェア自転車（三輪）の導入も考えられる
- ・ 広域の移動において、JRとバスがそれぞれを補完するような時間帯で運行すると良い
- ・ 実証運行や本格運行が始まって、見直しを継続して実施してほしい



■テーマ②：こんな公共交通なら利用したい

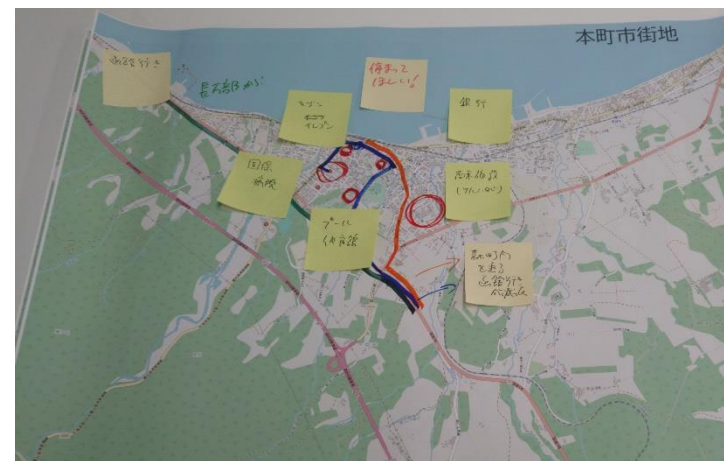
- ・ 運賃が距離に応じて、100円～500円の範囲で変動すると良い
- ・ 一般的な定期券やペイペイなど新しいものも含めた運賃の支払い方法の多様化
- ・ 利用促進においては、町内交通の利用促進を着実に実施し、広域的な移動に展開すると良い

■その他

- ・ からまつリゾートに移住してきたが、車がない生活は、なかなか考えられない
- ・ 地区内には買い物場所もなく、交通も脆弱

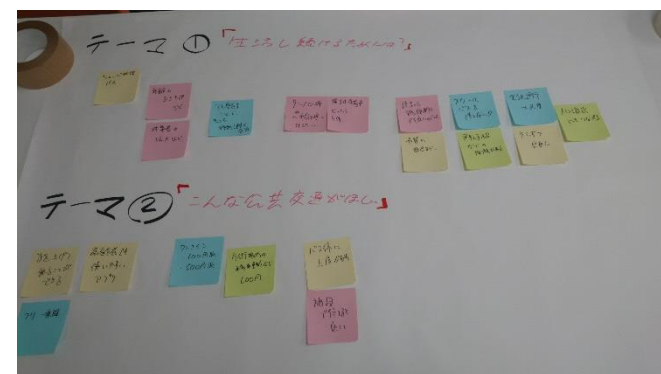
■テーマ①：森町で生活し続けるためには？

- ・「ちゃっぷ林館バス」の対象者が拡大すると良い
- ・9～10時台に自宅近辺から市街地に行けるようになると良い
- ・予算等の都合もあるため、決まった路線を運行する形態でも十分だと思う
- ・市街地内においては、国保病院やセブンイレブン、プール、体育館、銀行、商業施設（ツルハなど）に立ち寄る交通があると良い



■テーマ②：こんな公共交通なら利用したい

- ・フリー乗降のように手を挙げて乗車できるとバス停まで行かなくて良いので、ありがたい
- ・運賃はワンコインが望ましい（100円もしくは500円）
- ・市街地内だけなら100円が望ましい
- ・バス停に上屋がないため、バス停近隣の施設内で待てると良い



■その他

- ・スクールバスなど町内の交通資源を活用し、現状の交通を少し見直すだけでも移動しやすくなる
- ・実証運行や本格運行が始まって、見直しを継続して実施してほしい